

からだを知るため まず受けよう

健康推進課 ☎(88)8122

健康診査は、心臓病や脳卒中などの病気を未然に防ぐために、自ら生活習慣を改善するきっかけとなるよう行っています。定期的な受診で、自分自身の健康状態を把握しましょう。

施設健診と集団健診

施設健診 6月22日(月)～令和9年1月30日(土)
集団健診 10月19日(月)～11月7日(土)

対象者

▼市の国民健康保険の被保険者で、令和9年3月31日時点で40歳以上75歳未満の人(4月2日以降に国保に加入した人は申し込みが必要)

▼受診日時点で75歳以上の

人、または65～74歳で後期高齢者医療制度の被保険者

※施設に入所している人や長期入院している人は対象外

検査内容 身体測定、血圧測定、尿検査、血液検査、医師の診察など

持ち物 保険資格が確認できるもの、受診券、受診カード、採尿容器(集団健診のみ)

個人負担金 無料

注意事項

▼前日の午後9時以降は食事を取らないでください(水分補給は差し支えありません)

▼対象者には、後日、受診案内を郵送しますので、ご確認ください



危機管理課 ☎(88)9185

出水期に備える 大切なのは「早めの判断」と「助け合い」



出典：国土交通省福島河川国道事務所

河川の氾濫などの水災害に備えるため、釈迦堂川の床掘削を行い、流下能力の向上を図っています

川の増水や土砂災害に注意が必要な「出水期」がやってきます。まずは自分の命を自分で守る「自らの判断」が重要です。また、普段から近所同士で声を掛け合い、助け合って避難できる、つながりを持つことが、いざという時の確かな安心につながります。

積極的な災害情報の収集を

安全に避難するためには、正しい情報の入手が欠かせません。市では、浸水や土砂災害の危険を示す「洪水・土砂災害ハザードマップ」に加え、激しい雨などで下水道や水路の排水が追いつかない水害を想定した「内水ハザードマップ」を整備しています。



災害情報リンク集



洪水・土砂災害ハザードマップ



内水ハザードマップ

台風や大雨の時に、自宅や職場周辺の避難所、安全な避難ルートを事前に確認し、家庭内でも共有しておきましょう

健康診査と併せて受診できるがん検診など(集団検診は一部予約制)

検診項目	対象年齢など ^{*1}	個人負担金 ^{*2}
肺がん ^{*3} (結核含む)	40歳以上	集団：500円 施設：600円
大腸がん	40歳以上	500円
前立腺がん	40歳以上の男性	集団：600円 施設：700円
肝炎ウイルス	40歳以上(過去に受診したことがない人)	500円
胃がんリスク ^{*4}	40歳から49歳までで除菌治療を受けたことがない人	集団：700円 施設：800円

※1 令和9年3月31日時点
 ※2 70歳以上または生活保護世帯は無料。65～69歳で後期高齢者医療制度の被保険者は、保険資格が確認できるものを提示すれば無料
 ※3 胸部エックス線による検査となり、喀たん検査は令和7年度で終了
 ※4 事前に郵送された受診券を持参してください

国民健康保険以外の被扶養者の特定健康診査

全国健康保険協会(協会けんぽ)や健康保険組合などに加入する40歳以上75歳未満の被扶養者の特定健康診査は、市が行う集団健診や実施医療機関で受診できます。詳しくは、加入している医療保険者に直接お問い合わせください。
※市が行う各種がん検診は、加入している医療保険に関係なく受診できます。

☎協会けんぽ ☎024(523)3919

集団健診時のお願い

▼体調が悪いときは、来場をお控えください
▼気温が低い日は暖かい服装でお越しください

集団健診は原則予約制に

今回から集団健診は、一部会場を除き予約制となります。予約が必要な会場に直接来場された



集団検診の予約

健康診査と併せて受診できる検診

右の表の項目も、健康診査と併せて受診できます。
注意事項 胃がん・乳がん・子宮がん検診は登録制となります

場合は、お断りすることがありますので、必ず予約の上、ご来場ください。予約方法など詳しくは、市ホームページをご覧ください。
その他 集団健診の会場や受付時間、施設健診などを行う医療機関など詳しくは、市ホームページをご覧ください。



成人の健診・予防接種

防災気象情報の名称が新しくなりました

う。また、市からの情報と併せて、国や県が発信しているリアルタイムな情報も、早目の避難の目安となります。これらの情報を自らの判断に生かし、役立てることが、緊急時の安全につながりますので、日頃から確認するようにしましょう。

避難のタイミングをより分かりやすくするために、これまで情報ごとに異なっていた防災気象情報の名称が「警戒レベル」の数字を付けたものに一本化され、取るべき行動が直感的に判断できるようにになりました。下の表を参考に、新しくなった各情報の名称と、避難の目安を確認して、早目の行動を心掛けてください。



気象庁ホームページ

防災気象情報と避難の目安

警戒レベル	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
1	早期注意情報			

情報が出たら、どう動く？

- レベル5 特別警報**
 - すでに安全な避難ができず、命が危険な状況
 - 今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動する
- レベル4 危険警報**
 - 危険な場所から全員避難する
 - ※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了
- レベル3 警報**
 - 避難に時間がかかる高齢者などは危険な場所から避難する
 - 高齢者以外の人も必要に応じて避難の準備や自主避難をする
- レベル2 注意報**
 - ハザードマップなどで災害リスクを再確認する
 - 自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する
- レベル1 早期注意情報**
 - 災害への心構えを一段高める

CHECK! 避難するタイミングは **レベル3** と **レベル4**

No.382 ふるさとの遺産

須賀川アルバム-昭和の記録写真から-

「西川神炊館神社の大移動」(写真：昭和49年)

新町の新屋敷公園の隣にある神炊館神社は「西川神炊館神社」とも呼ばれ、かつては茶畑町にありました。昭和46年から始まった西川土地区画整理事業に伴い、釈迦堂川の改修が行われ、神社のあった場所も水没することになりました。このため、昭和49年に現在の場所への移転作業が行われ、建物をそのままの状態移動する「曳家」と呼ばれる工法が採られました。

地域の人々の協力もあり、無事に移転したこの神社は、今も地域の人々の暮らしや安全を見守っています。

☎博物館 ☎(75)3239



社殿を移動させるため、建物を持ち上げる様子